

「両津病院 移転新築計画」・「歌代の里 新設移転計画」に係る説明会 質疑概要

質問者	項目	質問内容	回答
A	両津病院	総工費5.3億のうち 想定される補助金はあるか。	新潟県の補助金4.4億円を見込んでいる。
		現在のコロナ関連の補助金や運営するための補助金あるか。	コロナ関連の補助金は昨年度5千万円。今年度に同様の補助はない。 大きな補助としては、へき地医療補助金は、6千万だったものが今年度8千万円に。
		現病院と新病院のスタッフの数と医師の数を教えてほしい。	現在の職員数は、120名程度。医師は勤務医4名と派遣医師が2人、他に研修医が1人。 新病院でも病床数は変わらないので、今の職員数と同じ人数で運営したいと考えている。
	歌代の里	民間で老人福祉施設を整備する場合は、なぜ市の負担が少なくなるのか。	県市から建設費等の補助金を交付するが、その他の費用は民間事業者が負担するため市の負担が少なくなる。
		老人福祉施設を整備する民間法人はあるのか。	今回、市内の他、全国の社会福祉法人を対象に公募する予定である。
B	歌代の里	応募する法人がなかった場合はどうなるのか、市営の場合もあるのか。	応募がなかった場合は公募条件を見直し再公募することになる。再公募しても応募法人がない場合は、市営継続も含めて検討することになる。
C	両津病院	新聞記事で医療再編の記事を読んだ。現在の調整状況を教えてほしい。	2019年9月に厚生労働省が再編統合の対象424病院を公表。両津病院もその一つになったが、再検証して、新両津病院は計画通り建設するとして佐渡地域医療構想調整会議で認められた。最近、新聞に掲載されたのはこの医療構想を進めるうえでの重点支援区域の選定。
		高齢化で通院するための交通手段が心配である。現状、どのように計画されているか。	バスの運行経路については、新潟交通佐渡、佐渡市交通政策課など引き続き協議を継続する。徒歩や自転車で来訪される患者様にも、どのようなサービスが提供できるか検討する。
D	両津病院	両津の前浜地区は、朝1回、夕方1回しかバスがないため、その辺も考慮して検討をお願いしたい。	バスの運行経路については、新潟交通佐渡、佐渡市交通政策課など引き続き協議を継続する。現在実施している巡回診療がどこまで広げられるのか、また、近い将来の検討項目として遠隔診療もある。佐渡市全体の課題として捉えて検討する。
E	両津病院	現状では歌代の里から病院への患者移動は院内だが、新病院ではどのようになるのか。	契約次第だが、高齢者を車で移動させるより病院側から出向く形になると思われる。
	歌代の里	民間事業者に運営が移行された後、歌代の里の正規職員はどうなるのか。	正規職員は他の市営施設に異動することになる。会計年度任用職員は新しい法人に有利な条件で雇用できるよう働きかけていく。
		市営施設の正規職員は一時的に多くなると思われるが、新規採用は見合わせるのか。	数年程、職員数は多くなるが、職員の年齢構成、退職の推移等から一定程度の年数で現状の体制になると見込んでいる。新規採用については、当面見合わせるようになる。

「両津病院 移転新築計画」・「歌代の里 新設移転計画」に係る説明会 質疑概要

質問者	項目	質問内容	回答
F	両津病院	歌代の里と両津病院の移転時期を教えてください。	「歌代の里」は令和6年4月、「両津病院」は令和6年10月の開設を計画している。ただし、両津病院は、基本設計が4カ月遅れていることから、開院時期にも影響がある。今後の実施設計で開院時期について、明確にしていきたい。
		産婦人科は新病院ではどうなるか。	現両津病院では、産婦人科と標榜しているが内容は、月に1日、婦人科の診療をしている。新病院でも婦人科として、現在同様の診療を考えている。
	歌代の里	老人福祉施設の建設予定地は谷間で水の量が多いところであるが問題はないのか。	8月～11月に地質調査を実施し、適正な工事を実施することで問題は無いとの結果となっている。
G	歌代の里	老人福祉施設は医師が常勤するのか。	新しい施設で決定することであるが、常勤ではなく、これまで同様両津病院と契約することになると想定している。
		現在、歌代の里は熱源等を両津病院と共有しているが、新しい施設は熱源は独立し、施設の上部に設置することを条件とするのか。	新しい施設の熱源は単独になる。熱源を施設上部に設置することを公募の条件とはしないが、事業者の提案を確認し協議していきたい。
		歌代の里の正規職員は他の市営施設に移るとのことだが、新しい施設に移ってもらうこともあるのか。	正規職員は他の市営施設に異動となる。会計年度任用職員は本人の希望を確認し、民間施設に移行いただくよう考えている。
H	両津病院	歌代の里の候補地の地形が不整形である。両津病院の隣に建設できないものか。	両津病院の敷地も歌代の里を建設できるほどの面積は大きくないため、難しい。
	歌代の里	老人福祉施設建設予定地は細長く斜面になっているが問題はないか。	施設整備時に、土地を造成し建設することで特に問題はないと考えている。また、建設予定地は施設整備に十分な敷地面積があると考えている。
I	両津病院	立地について、バス路線の状況をもみてもアクセスが悪いが、なぜその立地を選定したのか。	選定理由として、市有地であり、まとまった面積を確保できる場所として9カ所の候補地から文化会館跡地が選定された。また、高台に立地するため、津波浸水の恐れがなく、災害に強い病院が建設可能と判断した。
		バスのアクセスが悪いので、シャトルバスがないと運営ができないのではないかと。	バスの運行経路については、新潟交通佐渡、佐渡市交通政策課などと引き続き協議を継続する。
		立地について、津波による浸水想定は大丈夫か。	海拔22mに立地するため津波による浸水は想定されていない。
		遠隔診療について、どのような病状について、どこの医師とつなぎ、どのような診察をするのか、明確に教えてください。	巡回診療の延長にある形で、当院かかりつけの患者宅に看護師がタブレット等を活用して、病院内の医師が診察するケースを想定している。

「両津病院 移転新築計画」・「歌代の里 新設移転計画」に係る説明会 質疑概要

質問者	項目	質問内容	回答
I	両津病院	パンデミック対策について、病棟に陰圧室が1室であったがこれで対応できるものか。	佐渡医療圏の中で当院の役割を考えた時に陰圧室を増やすのは過剰設備であると判断した。実際に当院で複数の患者が入院する際には、ビニールカーテン等で、グリーンゾーン、レッドゾーンと空間を区分して工夫して対策する。
		両津地区は、潜水工事が多いと思うが、海洋事故へのアプローチ、計画等はされているか。	後日、回答する。 ⇒潜水病は特別の機械等が必要なもので、現在同様、島外の病院に搬送されることになる。
		新潟へのアクセスが年々悪くなっている。ヘリポートの計画はどうなっているか。ヘリ搬送が必要になった場合の患者動線を教えてもらいたい。	新両津病院の屋上にヘリポートの建設は考えていない。両津病院の患者様でヘリ搬送が必要な場合は、現在同様、佐渡空港から搬送する。
		新病院が建設されても、医師の確保ができていなければ、意味がない。医師の確保対策について教えてもらいたい。	佐渡市並びに新潟県、新潟大学などと連携して、引き続き医師の確保に努めたい。
	歌代の里	新しい老人福祉施設を両津地区に整備する理由は。	両津地区市営施設在り方検討会で検討した結果、両津地区の状況から両津地区で同規模の施設整備が必要との結果を受けて決定した。
		老人福祉施設整備にあたり土地は提供するのか。	他の社会福祉法人が運営する特別養護老人ホームについても、市の土地を無償貸与しているので、同様の条件で無償貸与とするよう計画している。
新しい老人福祉施設の利用料がこれより高くなるのはなぜか。		民間法人になることで利用料が上がるのではなく、介護報酬の規定により民間が設定した料金になる。国が定めた介護報酬の規定を減額するよう指導することはできない。	
J	両津病院	建設予定地近くの「行政区：白山」に「三艘」という地名があり、言い伝えでは、その場所まで船が打ち上げられたとのこと。津波対策も万全にしてほしい。設計者に伝承のことを伝えてもらいたい。	承知した。
		過去にジェットフォイル事故のこともある。災害時など、大人数収容に対して対応できるよう工夫して設計に反映してほしい。	1階内科の待合エリアは、廊下側の壁を無くして災害時に収容できるようにと考えている。2階の相談室・研修室エリアは、可動式の壁にしてスペースの確保と医療ガスの配管も配備して対応したいと考えている。
K	両津病院	新病院では人間ドックはできるか。また、脳ドックはできるか。	現在同様、人間ドックはできる。ただし、脳ドックはできない。